

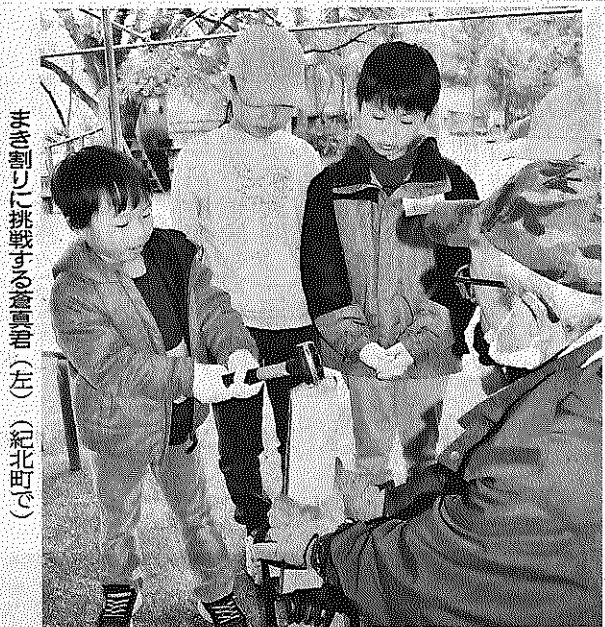
ワーケーション家族で

紀北のキャンプ場 アウトドア体験も

休暇を楽しみながら働く「ワーケーション」を親子連れで楽しんでもらうプログラムを紀北町のキャンプ場「キャンプイン海山」が始めた。2月下旬の3日間には3組が参加。親は仕事をする一方で、子どもたちはアウトドアでの「仕事」を満喫していた。

日頃、仕事と育児に忙しい親に、働くことに集中しながら、リフレッシュする時間も設けて、メリハリの

ある親子の時間を過ごしてもらおうと企画した。子どもたちには自然の中でキャンプ場の仕事を体験してもらい、自立心を育むことを目指す。



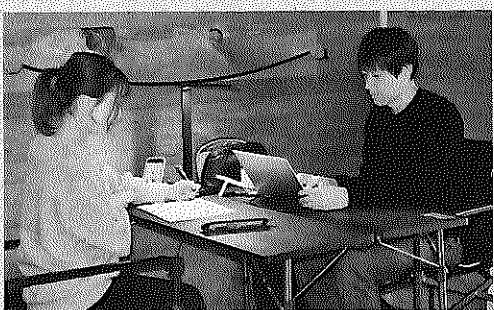
生き割りで挑戦する参加者(左) (紀北町)

家族3人で参加した、愛

知県北名古屋市、キャリアコンサルタント伊藤遥さん(33)は昼間、インターネットで情報収集しながら、仕事で使う資料などを準備。

夫の有佑さん(33)は元々、在宅中心の営業として働いているため、この日もいつも通りに仕事をこなした。

伊藤さんは、仕事の合間にコテージの前を流れる川を見ながらヨガをしたり、気分転換に外の空気を吸っ



「コテージで仕事を」する伊藤さん夫妻

たりし、「いい息抜きができ、仕事がかどった」と満足した様子。「食事も全部用意されているので、家族でゆっくりと過ごせた」と話した。

両親が働いている間、長男の蒼真君(6)は、他の子どもたちと一緒にキャンプ場のスタッフの指導を受けながら、落ち葉拾いなどを体験。販売用のまきを割る作業では、年輪を数えて木の成長について学んだり、安全な道具の使い方を覚えたりもした。カヌーに乗って「冒険」にも出かけた。担当スタッフの森本真理さん(55)は「大人にも子どもにも『働くこと』を楽しんでもらえたら」と話す。バーベキューや火おこしなど、親子で楽しむ時間もある。

今後は6月の開催を予定している。問い合わせは、同施設(05997・33・0077)。